

系列設置の意図及び学習内容と特色

北海道清水高等学校

系列	系列設置の意図	学習内容と特色
社会創造系列	文系の学びを基盤とし、地域と連携して持続可能な社会の担い手を育むために設置する。常に変化する社会にあって、社会が抱える課題を発見し、解決に向けた創造的な改善策を探究する力を養う。役場の広報企画課や商工観光課、観光協会等と協働した模擬議会や清水町や観光の広報活動、社会人マナーの習得などの実践を通じ、主権者意識を高め、多様な人々と協働して地域課題の解決に主体的に貢献できる資質・能力を育成する。	主に国語・地理歴史・公民・英語を中心とした選択教科・科目において、言語・歴史・地域社会についての理解を深める科目を設定する。 主に、文系大学や短大、保育士専門学校などへの進学及び公務員や事務系の民間企業への就職を目指す生徒が多く選択することを想定している。
自然科学系列	理系の学びを基盤とし、自然界の原理や法則を体系的に学ぶために設置する。段階的な知識・技能の習得により数学的・理科的な見方や考え方を育み、実験の反復による観察・分析を通して、科学的分析力や論理的思考力を育成する。また、生徒自らがテーマを設定して研究を進め、その成果をレポートにまとめる探究活動を行う。この一連の活動を通じ、研究プロセスを体験的に学ばせ、分析・評価・創造をはじめとする高次の思考力を育成する。	主に数学・理科を中心とした選択教科・科目において、自然現象への理解や科学的研究活動の技法を学ぶ科目を設定する。 主に、理系・情報系・産業系大学及び高等看護学校、医療系専門学校への進学を目指す生徒が多く選択することを想定している。
産業技術系列	農業生産、自動車整備、電気、ものづくり等の多様な専門分野の学びを基盤とし、地域の産業界を支える技術者を育むために設置する。溶接の資格取得や3Dプリンターを用いた製作活動、地域の子ども園との栽培・収穫体験等の実践的な実習を行う。3年次では、培った専門的な知識・技能を統合する卒業制作に挑む。一年の活動を通じ、技術革新に対応できる高度な想像力と、地域社会に貢献できる資質・能力を育成する。	主に、産業技術に関する選択教科・科目において、農業・工業の知識・技能を習得する科目を設定する。 主に、農業系・工業系就労を目指した進学、就職を目指す生徒が多く選択することを想定している。
食品ビジネス系列	食品の生産から加工、販売までを一体的に担う第6次産業化の視点を学ぶために設置する。2年次の食品栽培活動や小麦を用いた製造活動で食品製造の基礎を習得し、3年次には各自が設定したテーマで製造販売を実践する。校内販売、地域の祭り等での販促活動、各種コンクールへの参加出品を行い、地元食材の魅力を生かした一連のビジネスプロセスの体験を通じ、新たな価値を創造し地域に貢献できる資質・能力を育成する。	主に、食品に関する製造・マネジメント・演習を中心とした教科・科目において、食品を扱うための知識・技能を習得する科目を設定する。 主に、食品産業に関わる進路を目指す生徒が多く選択することを想定している。